

派遣先 タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校 (KMUTT)
派遣期間 2014年8月25日(月)～9月6日(土)
実習高校 Wat Bhudhabucha School (KMUTT から車で10分ほどの場所) ,
Satriwatrakhang School (女子校, KMUTT から車で1時間ほどの場所)
学校訪問 Darunsikkhalai School, Baan Mae Luang School
滞在先 KMUTT 借り上げアパート (2014年12月に留学生用の宿舎が学内に完成予定)
(住所: TonPao Apartment, 179/16, Buhhdabucha Road, Bangmod, Thung-kru, Bangkok 10140)
引率教員 大寫竜午

8月25日(月)

Suwarnabhumi 空港到着し、携帯のSIMカードを購入。KMUTTの学生が貸し切りバスで迎えに来てくれ、宿へ向かう。宿は、エアコン、Wifi有り、シャワーは温水なし。



学生の宿舎

8月26日(火)

09:30-13:15

KMUTTにてウェルカムセレモニー。学生はKMUTTの学生に引率してもらい、公共交通を利用して来学。ウェルカムセレモニーは学生と国際課の事務の方々によって執り行われた。学生が司会や大学の説明等を積極的に行ってくれた。その後、キャンパスツアー、昼食。



ウェルカムセレモニー&キャンパスツアー

13:15-17:00

KMUTT 事務のオラヌットさん, KMUTT の学生の案内でチャーターしたバンで, Wat Bhudhabucha School, Satriwatrakhang School を訪問し, 教室や実験器具の確認, スケジュールの確認等を行う。



授業準備のための学校訪問

[教員コメント]

KMUTT の学生が積極的にプログラムの運営に関わっており, 今後本学にて留学プログラムを拡大するためには, このようなやり方が重要であると思われる。彼らは, 学生の面倒をよく見てくれた。

ウェルカムセレモニーでは, 学生の発表時間が無かったため, 学生にとって英語で話す機会がないまま, 翌日の授業実習に望むこととなった。この点は, 学生の英語発表の練習のためにも, 今後改善すべきだろう。

8月27日(水)

08:30

KMUTT に集合し、オラヌットさん、KMUTT 学生とともに授業実習のために、Wat Bhudhabucha School へ、バンで向かう。

08:50

学校にてウェルカムセレモニーを受ける。校長先生の歓迎の挨拶の後、千葉大学から感謝状を渡す。ウェルカムセレモニーの後、日本語学習の一環として、日本語の授業をとっている高校1・2年生の生徒が合流し、学生と日本語で交流を行った。日本語ボランティアの方々（タイ滞在中の奥様方？）もいらしており、一緒に交流を行った。



日本語授業での交流

10:00-12:00

授業準備と授業実践。授業開始時間が10時であったため準備ができたユニットから授業が開始された。生徒の英語レベルは、インドネシアの学生に比べてかなり低かった。そのため、KMUTT の学生が通訳をしながら授業を進める形式が自然ととられた。授業後は、写真撮影をして交流を楽しんだ。



ユニットD



ユニット E



ユニット E



ユニット E 授業を終えて



ユニットF

12:00-13:00

昼食。学校が準備をしてくれた。最後にお別れのセレモニーをしてくださり、生徒の手作りのプレゼントをもらう。学生代表として山田さんがあいさつをして実習一日目終了。



学生代表挨拶

13:00-16:00

KMUTT に戻り、授業の反省と改善を行った。その後、第二週目に行われるチェンマイでの活動について KMUTT の学生の説明の基、話し合いが行われた。



学生同士の反省会&チェンマイでの活動の話し合い

[教員コメント]

Wat Bhudhabucha School の生徒は、インドネシアに比べて英語力がかなり低かった。学生は、それに対応して話し方を変えるなどできなかった点は、残念であった。ただ、マイクを使って授業がなされたので、ジェスチャーを使うなど工夫するのが難しかったのも事実であった。各ユニットごとに、連携良く授業がなされていた点は評価される。学生は初めての英語での授業という経験に興奮しているようであった。翌日の授業に向けて、振り返りは真剣に行われた。

8月28日(木)

06:00

KMUTT 集合、オラヌットさん、KMUTT 学生等とともに Satriwatrakhang School へ出発。

07:20

学校到着後、学校側に用意していただいた朝食をとる。

08:00

全校集会へ参加。お寺の中にある学校のため、宗教行事の時間が長かった。千葉大学生の紹介では、一人ずつ自己紹介をした。長田君はダンスを披露し、場を盛り上げた。



全校集会の様子&学生自己紹介

08:50

授業準備。

09:10-10:50

授業。ユニット D がギフテッドの高校 2 年生 23 名のクラス、ユニット E が普通クラスの高校 2 年生 44 名のクラス、ユニット F がギフテッドの高校 1 年生 24 名のクラスで実施した。



ユニットD



ユニットF



ユニットF&ユニットEの実験の様子

11:30-12:30

昼食。学校が用意していただいた。

12:30-12:40

フェアウェル・セレモニー。記念品の交換と千葉大学学生代表挨拶（伊勢谷君）の挨拶。



学生代表挨拶

12:50-15:00

近所の商店街の散策。現地の人の日常生活を垣間見た。

15:00-16:00

車で移動，解散。

[教員コメント]

今日も朝早くから KMUTT のオラヌットさんと学生のサポートの基，実習を行った。学校からは，全校集会に我々を招いていただいたり，朝食や昼食を準備していただくなど，非常にもてなしていただいた。校長先生からは，来年度もぜひとも来校してくださいとお言葉をいただいた。

授業は，昨日の授業改善と，生徒の英語力がある程度高いことにより，昨日よりスムーズに展開された。もっと効果的に話すにはどうしたらよいか，派遣前に準備する必要があったようにも思えるが，限られた時間の中で，彼らにとっては精一杯であるようにも思われる。授業終了後には，やりきったという感激の涙を流している学生もいた。5月の授業開発開始時から比べて，彼らの成長を感じることはできた。

8月29日（金）

09:30-12:00

KMUTT 集合、学内にある Darunsikkhalai School へ徒歩で移動。Darunsikkhalai School から、学校についての説明や、児童、OB・OG の研究発表を聞く。学内見学。Darunsikkhalai School は、私立の小・中・高校一貫校であり、構成主義学習論に基づいて、子どもの主体的な学習を最大限尊重することを徹底した学校である。施設も充実している。そのため、子どもの数に対して教師の数は非常に多く、授業料も高い。校長は、Mr. Paron Istasena であり、元々は実業家であった。外国人教師も多くおり、その内の一人、Mr. Nathaniel Nicholas Jackson Hyman (Head of English Native Speakers) とは、千葉大学学生のインターンシップが可能であるということ話を話した。普通学校では無いが、子どもも教師も英語ができる点で、今後のプログラムにおいてロングコースの学生がインターンシップ生として滞在することは可能である。



Darunsikkhalai School 訪問

12:00-13:30

KMUTT 学食にて昼食。

13:30-15:30

Darunsikkhalai School と同じ建物にある Engineering Science Classroom を訪問。学校の説明を受けた後、授業見学。独立した高校であり、各学年1クラスのみである。コンテキストを設定した科学授業を実践している。この学校の代表は、KMUTT の准教授 Mr. Wiwat Ruenglertpanyakul である。彼は、大阪大学（大学院？）を卒業しており、日本語も堪能である。科学や工学の指導に特化した学校である。



Engineering Science Classroom 訪問の様子

15:30-16:00

幼稚園にも足を運びたいという学生の希望により、幼稚園ではないが、KMUTT の教職員が預ける託児所を訪問し、子どもと交流した。

[教員コメント]

訪問した2つの学校は、ともに普通学校ではなく、私立のしかも少人数かつ授業料が高いなど、かなり特殊な学校であった。学生にはある程度刺激になったかもしれないが、教員志望ではない学生にとっては、少し退屈なものであったかもしれない。そのため、学生に質問があるか尋ねられても、あまり手が挙がらなかった。

Darunsikkhalai School は KMUTT 内にあり、英語で指導されているため、将来的に本学学生の海外インターンシップ先として良いかもしれない。

8月30日(土)

KMUTT 学生とバンコク散策

8月31日(日)

KMUTT 事務のオイさん(ニックネーム)と KMUTT 学生とともに、飛行機にてチェンマイへ移動。チェンマイの中心部のホテルにて宿泊。千葉学生が荷ほどきをしている間に、9月2日に行われる幼稚園訪問(実際は中学校に変更)の際の活動に必要な物品を KMUTT の学生が購入してくれる。その後、をーキングストリートにて食事を取り、懇親を深める。

9月1日(月)

07:15

ホテルを出発し、ヘバンで向かう。途中、へ寄る。1時間半ほど山道に揺られ、車酔いする学生もいた。宿泊は、施設内の研修所。温水シャワー有り、Wifi 無し、エアコン無し（高地にあるため夜はエアコン要らず）。

:

所長から施設及び活動内容について説明をいただいた後、施設内を見学。広大な敷地の中で、多様な植物を効率的によりよく育てるための工夫を見せていただいた。

18:30

夕飯は施設内で BBQ。

20:30

明日の活動についての話し合い。当初の予定では、幼稚園を訪問し園児と交流する予定であったが、急遽、中学校を訪問することになり、交流内容を変更。

[教員コメント]

KMUTT 事務のオイさんや学生が英語で千葉学生に指示しても、千葉学生の反応はいつも少し鈍い。英語力の問題で聞き取りができない学生も多いようであるが、十分な英語力の学生も数人いるので、彼らにイニシアティブをとってもらおうよう働きかけるが、なかなか率先して動く学生は少ない。また、学生同士仲が良いのは良いことだが、KMUTT の学生と常に積極的に関わろうとしている学生は限られている点が残念である。英語だけでは無く、コミュニケーションをとろうとする能力に課題があるようである。

9月2日（火）

07:30 朝食

09:00-11:00

にて、施設の説明を受けた後、施設見学。ただ、雨のため、施設見学はすぐに切り上げられた。途中、見晴らしの良いコーヒーショップで休憩した後、昼食のため宿舎に戻る。

13:45-16:45

近隣中学校訪問及び交流。当初の予定では、近隣の幼稚園を訪問し、園児とともに交流する予定であったが、雨のため園児が登園できないことから、急遽、近隣の中学校に変更された。活動は、体育館で行われ、生徒は30人弱ずつ3つのグループに分けられ、学生3ユニットとの交流をローテーションで45分ずつ楽しんだ。学生の活動は、ユニットDが折り紙（手裏剣）とフルーツバスケット、ユニットEが習字、ユニットFがけん玉であった。

18:30 宿舎にて夕食。

[教員コメント]

訪問先の変更について、学生は前日の夜に話を聞かされたにも関わらず良く準備をして、生徒とたちと交流を楽しんでいたようである。また、前日には交流する生徒は 30 人の予定であったが、80 名程度に当日に変更されたことにも、学生はうまく対応していた。このような、不測の事態に驚きつつも、対応していくところに、成長を見ることができる。

9月3日(水)

07:30 朝食

08:30 施設を出発し、ボタニックガーデンへ向かう。

09:30-11:00 ボタニックガーデン (Queen Sirikit Botanic Garden) 見学。

12:00-16:00 ショッピングモールでお土産の購入。

18:10 飛行機にてバンコクへの帰路につく。

[教員コメント]

KMUTT 事務のオイさんは、9月1日夜に祖母を亡くしたにも関わらず、チェンマイでの我々のプログラムを最後まで面倒見ていただいた。学生もお世話になったことを強く感じているようで、別れの際に名残惜しんでいた。また、金曜日に行われるファイナルプレゼンテーションの準備をする際に、「泣きそうだ」という声も聞こえ、学生それぞれが充実感を味わっていることが伺える。

9月4日(木)

ファイナルプレゼンテーションのための準備日。「何をやったか」よりも、「何を考え、今後どうしていきたいか」を中心にまとめるように指示した。

9月5日(金)

13:30-16:00

ファイナルプレゼンテーション。KMUTT の国際課 氏、オラヌットさん、学生1名が参加してくれた (KMUTT 学生は彼らの授業後に合流してくれた)。

18:30-23:00

フェアウェルパーティ。